

# 子どもの読書活動推進への「追い風」を活かし いまこそ、子どもたちに豊かな読書環境を

得松昭行

本稿は2004年7月23日、別府大学で開かれた「第1回子どもの読書活動研修会」をさらに充実・発展させ、今夏第2回研修会を成功させたいという願いをこめて、限られた紙数の中でとくに問題提起したいことを4点にしぼって記したものである。

- I 「追い風」を本当に活かしているのか
- II 子どもの読書活動推進の機運の高まり
- III 第1回研修会のアンケート、質問票から
- IV 第2回研修会に向けて

## I 「追い風」を本当に活かしているのか

1990年	国連子どものための世界サミット
1993年	学校図書館ルネッサンス元年　子どもと本の出会いの会 子どもと本の議員連盟　国立（国際）子ども図書館設立 「学校図書館図書標準」　「学校図書館図書整備5ヵ年計画」
1997年	学校図書館法改正
1999年	子ども読書年決議
2000年	子ども読書年
2001年	子どもの読書活動の推進に関する法律
2002年	子ども読書活動推進基本計画　国際子ども図書館開館 「学校図書館図書整備5ヵ年計画」
2003年	大分県子ども読書活動推進計画　司書教諭配置（12学級以上）

概略、以上のように子どもの読書活動推進のための施策が打ち出されている。国縣市町村と推進計画も策定されてきている。また、朝の読書の継続と広がり、学校図書館ボランティアの人たちによる読み聞かせなどの活動や学校図書館の環境整備作業、公共図書館と学校図書館との提携なども徐々に進んでいる。

しかしながら、子どもたちにより豊かな読書環境を築くための諸施策を真の追い風に行っているのだろうか。われわれの住む地区で、学校で、家庭で子どもの読書活動の振興が十分図られているかと問われれば、現実には寒々しいものがあると言わざるを得ない。

例えば、①子どもの読書離れ、活字離れの問題、②情報リテラシー育成の問題、③多くの小中学校には学校司書、司書教諭など子どもに読書の面白さを伝えてくれる「人」がないという現実、④図書館資料・メディアを使って、子どもが自ら調べ、問題を解決していく能力を育成するには余りにも貧弱な学校図書館の蔵書や機器類、なのに、⑤「学校図書館図書整備5ヵ年計画」により図書購入のための予算が地方交付税で措置されているにもかかわらず、予算化されていない市町村が多いという現状、などなど。

## II 子どもの読書活動推進の機運の高まり

1 「国連は1990年9月、子どものための世界サミットを開き、ここに参加した世界71か国の元首、首脳たちが『子どもを政治の最優先に』と誓い合ってから10年が経過した。(途中略)モノの豊かさに心の成長が追い付かず、わが国においても校内暴力、いじめ、衝動的行動、薬物汚染など子どもたちの悲惨な事件が相次いでいる。こうした、子どもたちの乾いた心に潤いを取り戻すことは、今日差し迫った課題である。われわれは、20世紀の反省と教訓の上に立って、新しい世紀を担う地球上のすべての子どもたちに、人権を尊重し、恒久平和の実現と反映に努め、伝統的な文化遺産を継承することを託さなければならない。

その第一歩として、わが国は世界にさきがけ平成12年、西暦2000年のこどもの日の5月5日、質も量も世界最大規模の蔵書と読書環境を整え、内外情報の収集と発信のできる国際子ども図書館を開館することになっている。

読書は、子どもたちの言葉、感性、情緒、表現力、創造力を啓発するとともに、人としてよりよく生きる力を育み、人生をより味わい深い豊かなものとしていくために欠くことのできないものである。

本院は、この読書の持つ計り知れない価値を認識して、子どもたちの読書を国を挙げて応援するため、平成12年、西暦2000年を『子ども読書年』とすることとする。

右決議する。」平成11年8月9日 参議院本会議 8月10日衆議院本会議で決議。

2 子どもの読書活動の推進に関する法律 平成13(2001)年12月12日

第1条 基本理念 国及び地方の責務 総合的、計画的に推進 子どもの健やかな成長に資する。

第2条 子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

第8条 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定しなければならない。

第9条 都道府県は、第8条の基本計画を基本に、「都道府県子ども読書活動推進計画」を策定するよう努めなければならない。

市町村は、「基本計画」及び「推進計画」を基本に、「市町村子ども読書活動推進計画」を策定するよう努めなければならない。

第10条 2 子ども読書の日は、4月23日とする。

3 子ども読書活動推進に関する法律案に対する附帯決議（衆議院）〔要約〕

- ① 読書環境整備に対して行政が不当に干渉することないようにすること。
- ② 民意を反映し、「基本計画」を速やかに策定、施策の確定と具体化に努めること。
- ③ 学校図書館、公共図書館等の整備充実に努めること。
- ④ 学校図書館、公共図書館等が図書購入に当たっては自主性を尊重すること。
- ⑤ 子ども読書の日事業への子どもの参加については、自主性を尊重すること。

4 緊急フォーラム 「子どもの読書振興のために今なにをなすべきか」

「読書の入口には、大人の手ほどきが絶対必要」

① 松居直氏講演 「言葉と本を通しての人と人との結びつきの回復を」

- \* この法律の趣旨をどのように具体化するかという問題を、政官民各界の英知と総力を結集して考えていこう。
- \* 日本の子どもの読書習慣の低さを考えると、子どもの読書文化・環境について、歴史的に検証していく必要があるのではないか。
- \* 読書のある暮らしを、子どもたちの生活の中で改めて推進し、具体化し、保障することが、この法律の精神だと思う。
- \* 21世紀を「読書の世紀」と呼んでもよいのではないか。

② 鳥取県教育委員・永井伸和氏講演 「子どもの読書推進を図る自治体の取り組み」(略)

③ 大正大学教授・中多泰子氏講演 「公共図書館の現状と課題」(略)

④ 全国SLA理事長・笠原良郎氏講演 「学校図書館整備の中長期計画の策定を！」(略)

⑤ 児童文学者・角野栄子氏講演 「人は生まれたときから本が好き」

⑥ ブックスタート支援センター代表・白井哲氏講演

「ブックスタート運動全国自治体で本格始動」(略)

⑦朝の読書推進協議会・大塚笑子氏講演 「朝の読書で子どもと学校が変わる」(略)

⑧親子読書・地域文庫全国連絡会・広瀬恒子氏講演 「地域に根ざした読書推進を」(略)

緊急フォーラム アピール 2001年12月10日

(10行ばかり略) 2000年は、子どもにとって希望がめばえた年でした。

朝の読書や読み聞かせなど、草の根の読書活動が広がり、ブックスタートの運動も始まりまし

た。「子ども読書年」は、読書を通して子どもの言葉と知と想像力を育む運動であり、私たちが、子どものためになにをなすべきかを学ぶ貴重な機会でありました。(略) 本法律は、21世紀を真に子どもの世紀として拓く指針となるものです。私たちは、この基本理念を生かすために、それぞれの立場と役割において、子どもに喜びを感じ心を豊かにする本を贈り、より充実した読書環境を創る責務があるということを銘記したいと思います。子どもが本を読む国に、未来は輝きま  
す。(後略)

5 「子どもの読書活動推進は、まず子どもの読書環境を豊かにする基盤整備から」

呼びかけ団体 学校図書館問題研究会 2001年10月28日

(6行余り略) 実際に法律案を見るなかで、いくつかの疑問と子どもたちの自由で豊かな読書活動に対する不安を感じています。読書は、本来個人の自発的意志による自由な活動であり、その機会は子どもも大人も等しく保障されなければなりません。また、図書館サービスの充実など読書環境の整備によって、読書は推進されるべきものと考えます。読書推進の内容が「思想善導的」なものになることを危惧します。子どもの自主的な選択を保障し、強制的、競争的ではないものを基本理念とすることを求めます。真に心豊かで創造性あふれる子どもたちの育成を願うならば、学校図書館や公共図書館を子どもたちにとって親しみやすく楽しい場所として充実させ、図書費を増やし、資料に詳しい「専任・専門・正規」の図書館職員を配置するなど、子どもたちをとりまく読書環境を豊かにすることこそが、早急に取り組まなければならないことです。国や地方公共団体の「責務」について言及するのであれば、こういった子どもの読書活動を豊かにするための基盤整備にこそ目を向けるべきだと思います。(後略)

6 「子どもの読書活動の推進に関する法律案について要望」 日本図書館協会 2001年11月15日

(趣旨は略し、要望事項のみ)

- ① 読書は自由で私的な営みであることを踏まえ、子どもの権利としての読書を保障する視点を明確にすること。読書は、強制や評価とは無縁の営みであり、子どもたちの自発的意志により行われるべきものである。
- ② 子どもたちの読書振興のためには、公立図書館や学校図書館を充実し、専任の専門職員を配置し、充実した資料費を保障した読書環境の整備を図る施策が必要であり、その推進に資するものであること。
- ③ 子どもたちの読書の振興を図るために、現状と課題を明らかにした具体的施策を講じること。
- ④ 子どもの健やかな成長に資するとして、提供する図書の「選定」等が特定の図書の排除をもたらすようなことにならないこと。
- ⑤ 事業者の努力や保護者の役割、関係機関等の連携強化などは、法によって規制するものではないことを踏まえ、自発的に行われる読書振興活動を支援すること。
- ⑥ 財政措置は、一過性のイベント等で消費されるべきではなく、子どもたちの読書環境整備に

永続的に資するための施策とすること。

7 「子ども読書活動推進基本計画」に関する要望 全国学校図書館協議会 2002年2月20日

- ① 学校図書館の蔵書を充実する 小中学校の蔵書を現状の2倍程度、高校を1.5倍程度に。
- ② 学校図書館の施設を充実する 同時に2学級が学習に利用でき、0.5学級の子どもたちが自由に読書できるよう現状の3倍程度の広さと快適な空間を確保する。
- ③ 学校図書館の職員の配置を改善する 司書教諭が学校図書館に専念できるよう改善を図る。小規模校への配置も進める。学校司書を法制化する。
- ④ 学校の教育課程に「図書館・読書の時間」を位置づける 「朝の読書」、読み聞かせ、ブックトーク、読書会など学校おける読書活動が積極的に取り組めるようにする。
- ⑤ 地域ごとに「学校図書館支援センター」をつくる 図書館資源の有効活用を図るため、地域に開かれた資源共有型の図書館ネットワークをつくる。地域学校図書館へのサービス拠点として「学校図書館支援センター」を設置する。
- ⑥ 地域の公共図書館（児童図書館）を増設する
- ⑦ 子どもの読書環境の地域格差を是正する 学校図書館予算の多寡、公共図書館の有無などにより、読書環境の地域格差が生じているので、格差を是正する施策を策定する。

8 学校図書館の蔵書の整備について 文部科学省児童生徒課長

第34回全国学校図書館大会で講演 2004年8月

平成5年に公立小・中学校の図書館に備えるべき蔵書冊数の標準として「学校図書館図書標準」が定められ、その計画的な整備を図るため、平成5年度から平成9年度までの5年間に、総額約500億円の地方交付税措置が講じられました。また、平成14年度からの5年間で公立義務諸学校の学校図書館図書資料を約4000万冊整備することを目指し、新たに、「学校図書館図書整備5カ年計画」をすすめているところであります。この5カ年計画により毎年約130億円、総額約650億円の地方交付税そちがこうじられることとされています。

文部科学省の調べでは、平成15年度の学校図書館図書整備費として130億円を上回る約142億円が計上される結果となりましたが、地域によって濃淡があるところです。「学校図書館図書標準」は平成5年当時の蔵書数をおよそ1.5倍にすることを目標として定められたものですが、平成15年3月末において、「学校図書館図書標準」の達成率は小学校で34.8%（平成13年度末33.7%）、中学校で29.0%（平成13年度末26.5%）という状況にあり、各教育委員会及び学校において、蔵書の計画的な整備が求められます。

各地方公共団体において、地方交付税措置の趣旨を踏まえ、計画的に蔵書の整備が図られるようにし、学校図書館図書標準の早期達成に努めるよう指導してまいりたいと考えております。

## 9 大分県子ども読書活動推進計画（おおいた子ども夢ライブラリー計画） 平成16年2月

この「計画」はかなり分厚いものなので省略する。西日本図書館学会大分県支部の機関誌『ジャントクラブ』6号（16～25ページ）に掲載されているので、ぜひ読んでいただきたいが、とくに①市町村（公立図書館および公民館図書室等）の取組の現状と課題、②学校の取組の現状と課題、③地域（読み聞かせグループ等）における現状と課題、④家庭における現状と課題について、はたして取り組みの現状を正しくつかんでいるか、データを含めて分析・検討しておきたい。

さらに、Ⅲの「各事業主体の具体的方策と連携・協力の促進」の具体的方策について、十分検討を加え、具現化していかなければならない。

平成17年1月には「宇佐市子ども読書活動支援プラン」が出されている。

### Ⅲ 第1回研修会のアンケート、質問票から

第1回子どもの読書活動推進研修会には、学校司書、司書教諭、教諭、保育士、司書、ボランティア活動をしている人など120名余りが参加した。9:20～15:50、別府大学32号館400番教室で講師の講義を聞き、研修ごとに若干の質疑をするというかたちで進められた。

研修Ⅰ「子どもと本をつなぐ」大分県立図書館奉仕第一課児童係 司書田島貞子氏

研修Ⅱ「挾間町立図書館の取り組み子どもサービスを中心に」

挾間町立図書館長 山付美江子氏

研修Ⅲ「子どもの読書活動と図書館」横浜市立大学教授 朝比奈大作氏

研修Ⅳ「学校図書館の現状と課題」大分県学校図書館協議会事務局長 伊藤裕治氏

## 第1回 子どもの読書活動推進研修会 アンケート（80人回収）から

- 1 参加者の職種  
教 員 34人（内、司書教諭 13人）  
図書館職員 14人  
学校司書 18人  
ボランティア 13人 NPO 1人
  
- 2 会 場  
別府キャンパスでよい 39人  
大分キャンパスがよい 35人  
どちらでもよい 5人
  
- 3 日 時  
今年と同じでよい 60人  
変えたほうがよい 夏休みになった当初は行事が多い 4人  
中学県体で来られない人がいた 6人  
公立図書館はこの時期繁忙期 3人  
遠方の人のことを考えて、開会、閉会時間を考えて 6人
  
- 4 交通手段  
自家用車 54人  
JR バスなど 21人
  
- 5 研修内容  
このままでよい 40人  
多くのことを学んだ 広い角度で子どもの読書について学んだ  
子どもの読書環境の遅れを知った  
改めたほうがよい 20人  
4本はきつかった 3研修でゆっくり学ぶほうがよい 70分  
×4研修でよい ワークショップを取り入れて 午後はワーク  
ショップがよい 理論と実践に分けて 午前中でよい 午後は  
参加型に 実践事例を多くして 午後の時間に工夫を 具体的  
な話をもっと聞きたい 幼稚園勤務者にわかる話を 研修3と  
4を午前中に、1と2を午後にしたらよかった 子どもの気持ち  
(心理)を学びたい 分科会を設けて ボランティア活動をし  
ている人のことを考えて
  
- 6 その他 意見  
この企画を実行に移したことを感謝している 子どもの本の展示をしたら 参  
加者の幅が広すぎたので、もっとしばって研修を深めて欲しい 教師向けの話

が多かった 机と椅子がきつく、6時間は疲れた 行政の側の話を聞きたい  
子どもの読書活動推進とは具体的に何を学ぶのか学びたい 参加者の立場の違いに配慮した研修会の運営を 現場で実践している人の話をもっと聞きたい  
(例えば、伊万里図書館の人の) 駐車場の配慮を 研修会の時期などの連絡は  
早めに 名簿は不要 司書講習の感じがした

#### 質問用紙で寄せられた主な質問事項から (意見、要望も含む)

- ①小中学生が読み物好きになる具体的な手立てにはどんなもの、方法がありますか。  
最近の子どもの読書傾向は、物語等の読み物よりも図鑑、なぞなぞ、ゲームなど、  
手軽な本を選ぶ傾向が強いと感じている。
- ②読み聞かせのボランティア活動をしていますが、昔話の中には残酷な場面が結構出てくるので、  
ついはずしてしまうことがあります。でも、昔話には生きる力を示唆しているものが多いとも思  
うので、つい考えてしまいます。
- ③この夏、市からの方針で学校図書館を閉館して、一冊一冊の本にカードを差し込み、図書整理を  
しています。バーコード化はいつのことやら。学校から何か動きを起こすということですが、何  
からやっていけばよいのか分からないのが現実です。司書教諭という資格は持っていますが、クラ  
ス担任をしていて図書館につけないのが残念です。司書教諭の専任はありえないとの県からの返  
答です。学校司書はもちろんいません。  
\* どこに、どのようにして、声(実態、要望)を出せばよいのか。  
\* 一人で抱え込まないと、学校図書館が働かない現状をどうすればよいのか。
- ④学校図書館の蔵書冊数達成をめざしていくという事は分かります。  
しかし、古い本がたくさんあっても仕方ありません。蔵書冊数を調べるとき、せめて過去5年間  
の購入冊数、または過去10年間の購入冊数のアンケートに変えるべきだと思います。ただ冊数  
を調べる現在のアンケート様式は何の意味もないと思っています。子どもたちにとっての学校図  
書館は明るい未来であってほしい。蔵書冊数の調べ方に一考を。
- ⑤乳幼児期にほとんど絵本に接したことがない小学生に、乳幼児向けの絵本を読み聞かせた方がよ  
いのでしょうか。小学生といっても、1年生から6年生まで年齢差があるのですが。小学校高学  
年の子どもに読み聞かせをするとき、読書体験に相当の開きがある子どもたちに、どの本を読ん  
であげたらよいのか、悩んでいます。
- ⑥学校図書館コンクールの話がありましたが、文部大臣賞を受賞した学校を知りたい。受賞の理由  
というか、基準も。優秀な学校図書館報を出している学校や図書館だよりの実物もぜひ紹介して  
ほしい。
- ⑦公共図書館に勤めている者です。最近、読書ボランティアをしている方から「アニメ的な昔話絵

本などは、絵本としてあまりよくないので、置かないでほしい」という声が聞かれます。長年読み継がれてきた絵本を揃える一方で、そのようなアニメの絵本も置いているのですが、子どもの本の選書や並べ方（配架）についてご意見を聞かせてください。

- ⑧現在の子どもと昔の子どもの違いなど、子どもをもっと知りたいので、そのような話を聞くことができるようにしてください。
- ⑨司書や学校司書の採用状況を知りたい。採用条件や採用の形態（公務員、臨時職員、嘱託職員、NPO、委託職員など）についても話してもらいたい。
- ⑩良書と適書についてもっと詳しく学びたかったが、帰りの時間があつたので、心を残したままている。ぜひ（お忙しいと思うけれど）何かの形でこのことを参加者に知らせていただきたい。無理なお願いです。
- ⑪大分県が出したという「大分子どもライブラリー計画」について、内容や、今後何に取り組むのか、どうしてみんなに知らせてくれないのか、市町村は何をするのかなど、みんなで考えてみたい。
- ⑫挟間図書館の「未来クラブ」「ブックスタート」「本のひろば（ソフト）」について大変興味を持った。およそのことは分かったが、もう少し具体的に丁寧に教えて下さるとありがたい。
- ⑬4月24日だったと思うが、県立図書館の子ども読書の日のイベントはすばらしかった。県下ではどのようなことをしているのだろうか。残念ながら私の市では何もなされなかった。県立でも親子の参加者は少なく、へえ、なんでーと思ったくらいだった。県立図書館の子ども読書の日のメニューを、この会を通してみんなに知らせてあげたら。
- ⑭国から学校図書館を整備・充実するために長年に渡り交付税が自治体へ来ていることを初めて聞いた。古くて少ない図書、人がいなくて、ほとんど利用されていない図書館をほったらかしているのに、先生方は何をしているのですか。朝読書とか感想文とか感想画とかがんばっているのだからなあと思っていたのに、肝心なことをやっていないのはおかしいですよ。

#### IV 第2回 子どもの読書活動推進研修会の開催に向けて（案）

- 1 趣旨 第1回研修会の成果と課題（「ジャントークラブ」第6号2004WINTER号掲載）に加えて、「司書教諭と学校司書の協働、図書館担当者と学校図書館ボランティアとの協働、資質の向上をはかるとともに実践交流の輪を広げる」ことをめざす。
- 2 期日 平成17年8月22日（月） 10：00～15：30
- 3 会場 別府大学 大分キャンパス
- 4 日程
  - ① 基調報告
  - ② 研修1 実践・活動を中心にした報告
  - ③ 研修2 現状と課題報告
  - ④ 研修3 基礎理論
- 5 今後の取り組みと検討課題
  - ① 大分県教育委員会、大分県学校図書館協議会、大分県立図書館などへの要請
  - ② 提案者の人選と協力要請 派遣申請
  - ③ 案内状作成、配布、発送
  - ④ 提案者の発表要項の受付け、研修会資料の作成
  - ⑤ 参加者受付け

（とくまつ・てるゆき 元宇佐市民図書館長 別府大学非常勤講師）